

ブック

日本文と英文が対訳で掲載されており、読者は、日本語と英語の表現を比較しながら読み進めていくことができる。日本文は400字未満であり、英文は平易な表現(中学校レベル)で綴られている。また、1ページで8〜15語程度、英文中に使用されている専門用語や発音が難しいと思われる語彙について、訳とカタカナ読み、アクセントなどが示されている。

内容は、中学校社会科の教科書や国史大辞典、文化事典などを基にして、日本の地理、気候、人口、言語、宗教などの基本的なデータや古代から2013年のデフレ不況までの歴史、及び、国歌や祭り、和服、アニメなどの日本文化・特色について書かれている。巻末には付録として、「日本の世界文化遺産」が写真とともに登録名と所在地、評価されたポイントが掲

英語対訳で学ぶ日本 歴史と文化の111項目



「学び伝えよう日本」プロジェクト 著 監修
澤大 大塚理
麗ジェ 中山
育職社 1512円 03-6368-8899

載されている。

監修者の中山氏は、「日本人の、日本人による、日本人のための『歴史や文化の知識と、それを国際共通語である英語で発信するコミュニケーション力』が求められている」と述べているが、「伊勢神宮(Se Jingu Shrine)」 「出雲大社 Izumo Taisha (The Grand Shrine of Izumo)」などは、神社の解説のみならず日本人の宗教観を語る時にも活用できる内容である。また、2013年に和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたことから、自然を尊重する日本人の精神を表した食に関する社会的慣習として「和食」につ

いて語っている内容も興味深い。新学習指導要領では、言語能力の確実な育成や伝統や文化に関する教育の充実、外国語教育の充実を図ることが示されている。グローバル社会に生きる子ども達の教育改革が進められる中で、本書の果たす役割は大きいと思われる。

(愛知教育大学教授・高橋美由紀)